

# 令和3年度 第1回中津川市立図書館協議会 会議次第

時：令和3年10月13日（水）15：30～  
於：図書館 2階 学習室

## 1 開 会

### 2 あいさつ

（協議会会長）

第一回の開催だが10月の開催となってしまった。コロナかということもあったが岐阜県も明日には解除になる。10月からは市の各施設も利用が再開している。皆さんにも影響はあったと思うが、新しい施設の安全祈願祭が行われました。図書館の皆さんには頑張っていたきたい。新しいスタート地点に立ったと思う。協議会としてもいろいろ協力していきたい。今回もいろいろな報告があると思うのでよろしく

（丹羽文化スポーツ部部長）

ようやく第5波が落ち着きつつあるが、中津川は以前の愛知県並の感染者がでてい。ワクチンを打ってもらって、10月にやっと会議やイベントができるようになった。だが、基本的な感染対策を継続してもらって、今後も対策していきたい。付知のアートピアで本日熊谷守一展の審査が行われた。展示は12/5～16で行なわれるので、皆様にもぜひ。今月の24日に歌舞伎も再開し、菓子祭りも例年通り行われる予定。スポーツや文化のイベントをしていくなかで、健康に気を付けて行っていきたい。今後の図書館のことや令和5年の新しい図書館についても協議会とともにサービス計画など話し合っていたきたい。報告事項についてもたくさんあるが、皆様に協議していきたい。

### 3 委員、職員の紹介 （資料1・資料2）

## 4 報告事項

報告1 中津川市立図書館臨時休館対応について（資料3）

小池館長：（資料説明）

会 長：この件について皆さん意見ありますか。私の方から、郵送サービスについて、ほかの図書館等でもやっているようだが、コロナの交付金で使えるものがあれば使った方がいいのではないか。やはり有料ではない方がいい。図書館の車もあるので、ステーションのような形でできないか。図書館で本を借りるのは無料だが、郵送にはお金がかかるのがちょっと

小池館長：有料なのもあって積極的には進めづらいが、どうしても本の受け取りができない人向けに考えた。去年の臨時休館時に考案したが、人との

接触を避けるというのもあり、図書館で配送というところまではいけなかった

会 長：学校ではどうなっているか

委 員：返ってきた本の消毒などをしている

委 員：席を減らして図書室などは運営していた

委 員：当時は本の家庭への持ち帰りができなかったが、今は再開している

## 報告2 図書館利用に関するアンケート（資料4）

小池館長：(資料説明)

会 長：ありがとうございます。40代女性が多かった理由はわかるか

小池館長：アンケートを受け取ってくれる人に40代女性が多かったのかもしれない

会 長：雑誌スポンサーなども活用して雑誌を増やしていけないか

小池館長：そちらも進めている。電子書籍なども考えのひとつとして試している

委 員：雑誌スポンサーについては企業さんに紹介できると思うので、相談いきたい

委 員：施設の問題については新しくなってから考えるとして、閉館時間については今のうちから考えたほうがいいのではないか

小池館長：開館時間については夏の時間は明るいうちに閉めることになるのでお客さんには少し申し訳ない。できるとしたら土日の閉館時間を試験的に延ばすことからかと思う

会 長：開館時間については、一度延ばしたら試験期間は関係なくなる。よく考えていくべき

## 報告3 中津川市子ども読書活動推進計画について（資料5）

原 係 長：(資料説明)

会 長：項目が多く、報告を評価するのも一苦労かと思われるが、子ども読書については法令で定められて、各自治体で実施している計画となる。第二次計画については、そのままの計画であれば令和4年から新しいものをスタートする予定となっているが、これから図書館がとても忙しい時期に入る。提案として、一期と二期の評価を令和4年に合わせて行って新しい計画の検討を行う。新しい図書館のサービスを含めて内容の検討する必要もあるので新しい計画のスタートを令和5年度からスタートしてはどうか

委 員：いまの計画だと複雑すぎて、内容を把握するだけで精一杯。提案のとおり検討をする期間をとったほうがいいのではないか

会 長：対応する本を買うといったことは目に見えるので評価しやすいが、ほとんどの項目は目に見えないものばかり。もうすこしわかりやすく評価できるような形を考えていきたい

小池館長：先生方に伺いたいですが、現在ipadが導入されていると思うが学校図書館との関係で何か変わったことはあるか

委 員：家で利用できる電子書籍のサービスをすすめている。電子書籍のライセンスをパウチしたものを貸出し、親子で利用できるように市で契約を行なっている

報告4 (仮称) 市民交流プラザについて

草野室長：複合施設について前回基本設計について説明させていただいたが、今回は新しい委員さんもいらっしゃるので実施設計について説明させていただく(資料説明)

今月末から来月にかけて、敷地内の建物の取り壊しとアスファルトの撤去が始まる。令和5年3月に完成予定で、図書館の引っ越しがあり、令和5年7月オープン予定となっている。現在計画中的なのが、村上康成さんに壁などに絵を描いてもらう打ち合わせを進めている。また、建物のロゴやイメージキャラクターなども相談に乗ってもらっている。運営体制については現在検討中で、施設長のもとに建物の維持管理部門、図書館、子育てセンターという形で運営できるように進めている

会 長：管理等の部分を含めて検討してもらいたい

委 員：駐車場の台数についてはどうなっているか

草野室長：中部電気、フォレスターマンションの一部、にぎわい広場、あとは立体駐車場なども活用してもらえ

委 員：運営に関する人を決めるスケジュールはどうなっているか

草野室長：詳細はまだ決まっていらないが、施設ができてからでは遅いので余裕を持った形で決めていきたい

委 員：避難所として使える施設なのか

草野室長：長期的な避難は中央公民館へしていただくが、この施設は帰宅困難者等の短期的な避難者が受け入れられる施設としていきたい

委 員：営業時間については、会議室等を使われる人は夜遅くまで使うものと思われるがどうか

草野室長：施設としては9:30~21:30までとにぎわいプラザに合わせていくが、図書館はまた別の閉館時間としていく

委 員：3階の子育てスペースは現在のにぎわいプラザのような形で運営していくか

草野室長：その想定です

委 員：現在の施設も利用しているが、遊具等が少ない。いろいろな時間を過ごせるものを設置するべきだと思われる

草野室長：遊具等は設置を検討している

委 員：図書館が引っ越した後の利用についてはどうなっているか

丹羽部長：現在はにぎわいプラザの行政機能の移動等が検討を進められているが、中央公民館が市民の活動の場というのもあり、いろいろな考慮をしていきたい

委 員：蔵書についてはすべて移転できるのか

草野室長：現在の蔵書が17万冊で新図書館は24万冊が入るスペースがある

委 員：未就園児の預かりについては何らかの業者さんが入るか

草野室長：そういった資格がある民間の事業者にやってもらう形になると思われる

丹羽部長：現在当初予算編成の期間で、いろいろな調整をしていく時期となっている。図書館サービス計画を作っていくのもあり、残りの協議会は2回だが、もう少し増やしていただいて検討をしていってほしいと思います

## 5 その他

次回の図書館協議会開催日について

## 6 閉 会（図書館長）

今日いただいた意見を少しでも反映できるように検討を進めていきたい。内部で職員とも話し合いよりよく進めていきたいと思っている。開催回数に限られているのもあるので積極的に意見を聞かせていっていただきたい。